

ワラサ・ブリのためのドラッグの調整

- 道糸を指に巻いて、思い切り糸を引き出すと、糸が出てくるくらいの堅さがよい。
= 糸をグッと強く引っ張ると出てくる状態

【釣り日記から】

2019年11月17日(日) イワシの泳がせ釣り 強丸 ワラサ 62cm

- グンと当たりがあってグイーと竿先が下がった。強い引きだ。ドラッグがすべって糸が出ていく。巻き上げようとしたら、通電が切れてモニターが真っ白になっていた。あたふたしているうちにバレてしまった。鉤から外れてしまった。ドラッグがゆるすぎたと思い、ドラッグを締めた。しかし、もしドラッグが強すぎたら魚との綱引きになってしまう。そうなれば糸が切れることも考えられる。結局、ドラッグの強さを元に戻した。糸をグッと強く引っ張ると出てくる状態にした。(結果的にはこれで良かった。)
- 突然あたりがあった。竿先が下を向く。ドラッグも滑る。合わせを入れることなく巻こうとしたら、通電が切れていた。手で巻こう。ばらさないように手で巻きながらやりとりしよう。巻けるときにすばやく巻く。竿を少し上げ、竿を戻しつつ素早く巻く。水深40mから上がってきた。タモですくってもらった。ワラサだった。ドラッグは糸をグッと強く引っ張ると出てくる状態にしてあった。